

事業期間は正しく記載してください。

その他の事業がない場合

〇〇年度 活動計算書  
××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇  
(単位：円)

科目	金額	金額	金額
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
入会金	5,000		
正会員受取会費	10,000		
賛助会員受取会費	50,000		
.....	×××	65,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	30,000		
施設等受入評価益	15,000		
.....	×××	45,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	250,000		
〇〇市委託	300,000		
.....		550,000	
4. 事業収益			
支援員養成事業収益	350,000		
子育て環境調査事業収益	234,000		
.....		584,000	
5. その他収益			
受取利息	350		
雑収益	5,000		
.....	×××	5,350	
経常収益計			1,249,350
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	812,615		
法定福利費	15,236		
退職給付費用	0		
福利厚生費	5,078		
.....	×××		
人件費計	832,929		
(2) その他経費			
会議費	12,650		
旅費交通費	7,500		
施設等評価費用	15,000		
減価償却費	6,812		
消耗品費	9,823		
.....	×××		
その他経費計	51,785		
事業費計		884,714	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	123,456		
法定福利費	6,172		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
.....	×××		
人件費計	129,628		
(2) その他経費			
会議費	18,750		
旅費交通費	2,120		
減価償却費	5,155		
消耗品費	4,980		
.....	×××		
その他経費計	31,005		
管理費計		160,633	
経常費用計			1,045,347
当期経常増減額			①-② 204,003
<b>III 経常外収益</b>			
1. 固定資産売却益		×××	
.....		×××	
経常外収益計			0
<b>IV 経常外費用</b>			
1. 過年度損益修正損		×××	
.....		×××	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			204,003
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			204,003
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			204,003

ここに記載の科目は一例です。法人に必要な科目を使用してください。

定款のどの事業に関する収入なのか、〇〇市委託分かるように記載します。

事業の実施のために直接要する支出を「(1)人件費」と「(2)その他の経費」に分け各科目ごとに表示します。

事業費以外の一般管理費支出を「人件費」と「その他の経費」に分け各科目ごとに表示します。

事業報告書の事業費の金額と一致します。

役員報酬がある場合は、役員名簿で役員報酬を受け取る人が分かるように記載します。

前期の正味財産額を記載します  
設立初年度の場合は、「設立時正味財産額」を記載します。

貸借対照表・財産目録の正味財産額と一致します。  
また、翌事業年度の「前期繰越正味財産額」となります。

※今年度はその他事業を実施していません。

その他事業を定款に定めていない法人はこの注意書きは不要ですので削除！

その他事業を定款に定めているが未実施の場合も、この様式を使用します。  
その際には、この注意書きを記載します。